

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会
会議録

| |
|--|
| 会議名 第4回 文化・観光・産業部会 |
| 日時 平成30年11月7日(水) 18時00分～19時00分 |
| 会場 墨田区役所131会議室 |
| 出席団体 ・(一社)墨田区観光協会 ・墨田区文化連盟 ・(公財)墨田区文化振興財団 ・向嶋墨堤組合 ・東京商工会議所墨田支部 ・墨田区商店街連合会 ・錦糸町を元気にする会 ・(公財)東京都公園協会 ・屋形船東京都協同組合 ・京成電鉄(株) ・京成バス(株) ・国技館サービス(株) ・国際ファッションセンター(株) ・(株)ジェイコム東京すみだ・台東局 ・(株)第一ホテル両国 ・東武タワースカイツリー(株) ・東武鉄道(株) ・パールホテル両国 ・凸版印刷(株) ・(株)ルネサンス ・東武トップツアーズ(株) ・北十間川水辺活用協議会 |
| 計22団体 |
| 会議の概要 【会員の意見】 :部会員 :区・事務局 1 情報提供 資料1 1～4について情報提供した。 墨田区文化振興財団から「隅田川 森羅万象 墨に夢」事業について情報提供があった。 2 前回の議事について 資料2について確認した。 3 意見交換について 前回部会にて議題に挙がった「交通のインフラ」、「情報のインフラ」、「サービスのインフラ」について、観光課より「台東・すみだ東京下町周遊きっぷ」、「すみだ観光舟運～回遊ガイド～」について情報提供があった。 すみだ観光サイトにおける多言語化対応の改善、インバウンド向けサイトの作成、観光ボランティアの募集準備、観光案内所でのキャッシュレス対応の準備を進めているところである。その他に各団体での対応があれば報告してもらいたい。 12月4日から3月31日までQRコードを活用したキャッシュレスの実証実験を始める予定である。300店舗の参加を目標としている。 区内循環バスの南部ルートを逆回りで走らせてほしい。吾妻橋等の高架下の整備を進めてもらいたい。 錦糸町地区は外国人観光客も多いため、両替・免税対応が課題となっている。特に個人商店は導入が難しい。補助等があればよい。 区内循環バスについては、吾妻橋近辺から両国へのイベント時等における無料シャトルバスの試行運転を計画している。免税については観光案内所等での対応から始めていきたい。両替についてはコンビニでは対応が進んでいると聞いている。情報提供から始めてい |

きたい。

他区の観光協会では両替機を導入しているらしいが、1～2か月に1度トラブルが発生し、対応に1～2時間はかかってしまうようだ。

両替は対応しているが、あまり利用頻度は多くない。それよりもアジア圏の観光客が多いため、WeChatペイやアリペイの利用頻度が多い。

まだ対応はしていない。両替機は2か月程度試験的に活用したが、利用頻度も少なく、トラブル対応に手間取ってしまう。

浅草駅では有人の両替対応を行っている。

両替対応よりもキャッシュレス対応の需要があるので、両替機の導入等は積極的に検討していない。

その他に本部会の取組として、いいアイデアはないか。

区民に対する気運醸成策として、各団体が所有している車両等に共通のステッカー等を制作して添付してはどうか。

今年度、本区では「あしたのジョー×すみだ」のキービジュアルを作成し、事業展開を考えているが、規制があり、自由な展開ができない。昨年東京マラソンの開催時に制作した手旗等を参考に検討したい。

情報発信等はあまりしていない。

外国人の利用客は増えているのか。

増えていると思うが、取りまとめ等は行っていない。

向島界隈における料亭・芸者文化は本区の魅力の一つであると思う。そのような文化も発信できるとよいのでは。

あまり情報を発信し、お客様を呼び込むという活動はしていない。今後の課題として捉えている。

なるべく多くの区民にオリンピック・パラリンピックに興味を持ってもらうために、区内事業者のうち有望なアスリートが在籍している事業者や競技器具を制作している事業者など、スポーツ関連事業者を探している。区内在住もしくは在勤者で東京2020大会への出場が有力視される選手がいると、区全体で応援し盛り上げられると思う。また、特にパラリンピックへの興味関心が低い。パラリンピックと墨田区との関係を明確にした方がよい。

区ゆかりのアスリートをパブリックビューイング等で応援したいと考えている。調査はしているが在住の方は見つからない。在勤の方あるいは競技器具を制作しているような企業と協力した気運醸成事業の展開ができないか検討している。

組織委員会からは区ゆかりの選手等の情報提供はないのか。メディアとしては事前に取り上げ、注目していきたいと考えている。

町会に調査をしてはどうか。東京1964大会時に区内在住の方が女子フェンシングの代表選手になり、地元町会一丸となって応援していた。

予算をつけ、区が活動を支援できれば、手を挙げるアスリートがいるかもしれない。メディア等も取り上げれば、区一丸となって応援する雰囲気を作れる。

障害者に向けた区内循環ツアーを実施できないか検討しているところである。パラリンピックの開催時には、選手自身にも墨田区を楽しんでもらえるようにしたい。

4 次回の開催日程について

本日議題に挙げた両替・免税や区ゆかりのアスリート等、特にテーマを絞るわけではないが、本区としてどのような気運醸成への取組ができるのか検討していきたい。

平成31年1月末から2月上旬で、部会長、幹事、事務局で調整して決定する。